

【まちづくりアンケート集計結果】

鳥取大学と町が協働で実施したまちづくりアンケートの結果は次のとおりです。

調査基準日 令和5年8月18日

調査期間 令和5年8月18日～9月1日

調査の方法 郵送または鳥取電子申請システムを使用したインターネット回答

調査対象 4月1日現在、北栄町にお住まいの18歳以上の人。(5,479世帯 12,154人)

調査票の概要 次のとおり

表 個人調査票の概要

1. 回答者の属性
自治会、年齢、性別、職業、経験したことのある職種
2. 日常生活
車を運転するか、買い物を担当しているか、町有施設の利用状況、災害時の対策
困りごとの相談先、通院状況
3. 地域づくり
自治会の活動への参加状況、助け合いの活動について、地域づくりに関する考え
今後の自治会の不安、地域づくりに関する意見
4. 情報
普段利用するメディア、インターネットの使用状況、災害情報の入手先
北栄町のできごと・イベントに関する情報の入手先、広報北栄について

表 世帯調査票の概要

1. 回答者の属性など
自治会、同居の家族、自家用車の所有、自宅や山林・農地の今後の管理
2. 買い物について
食料品・日用品の買い物(入手先、頻度、行き方)、ついで買い物の頻度
近所の買い物先がなくなった場合

表 世帯回収率

回収率

個人調査票 3,924人 (32.3%)
世帯調査票 1,972世帯(36.0%)

地区	配布数	回収数	回収率
全体	5479	1972	36.0%
中北条	1745	566	32.4%
下北条	1052	408	38.8%
大誠	909	347	38.2%
栄	408	144	35.3%
由良	1365	507	37.1%

記載内容について

(1) グラフについて

(ア) 単一回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフで示している。

(イ) 回答数は記載がなければすべて、個人調査票の場合は $n = 3294$ 、世帯調査票の場合は $n = 1972$ である。

(2) アンケート「その他」の内容について → 以下の方針で記載している。

(ア) 職業、職種については記載していない。

(イ) ひらがなを漢字にする等の修正を加えた。

(ウ) 同じ内容を示していると判断できるものは、表記を統一してまとめた。例)草刈り くさかり ⇒ 草刈りに統一

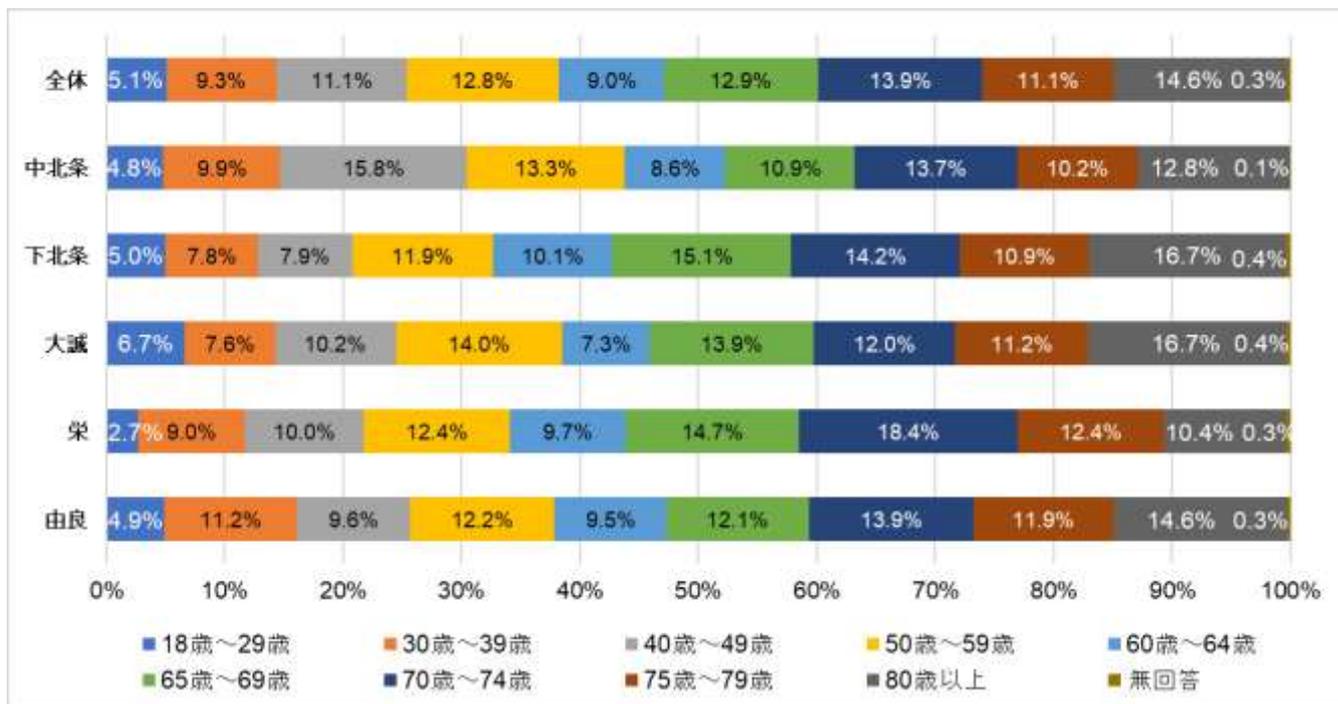
(エ) 個人の身体について詳しく書いてあるものは記載していない。例)〇〇(病名)なので～できない、～に困るといった内容

(オ) 上記を除き、なるべく原文に忠実に記載している。

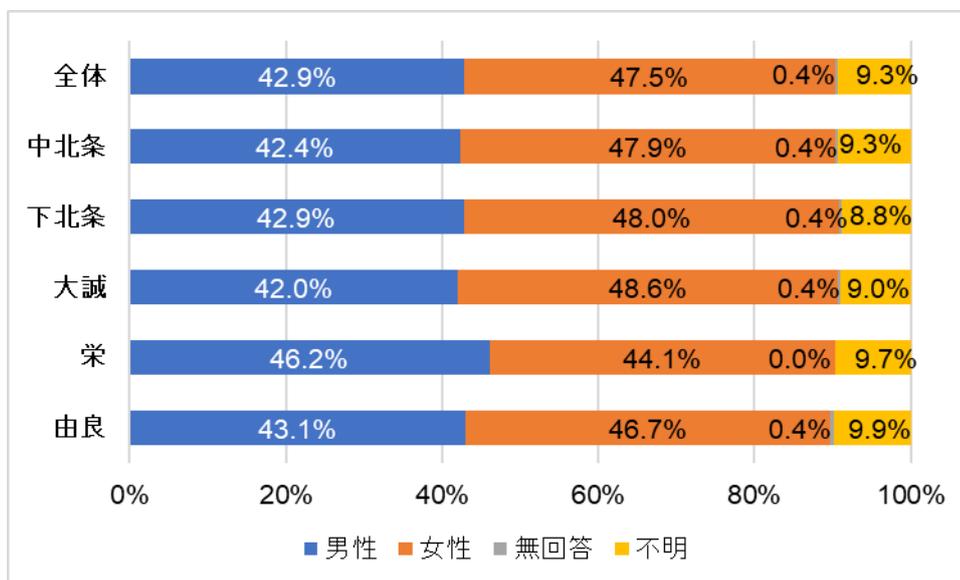
1 個人調査の結果

1.1 回答者の属性

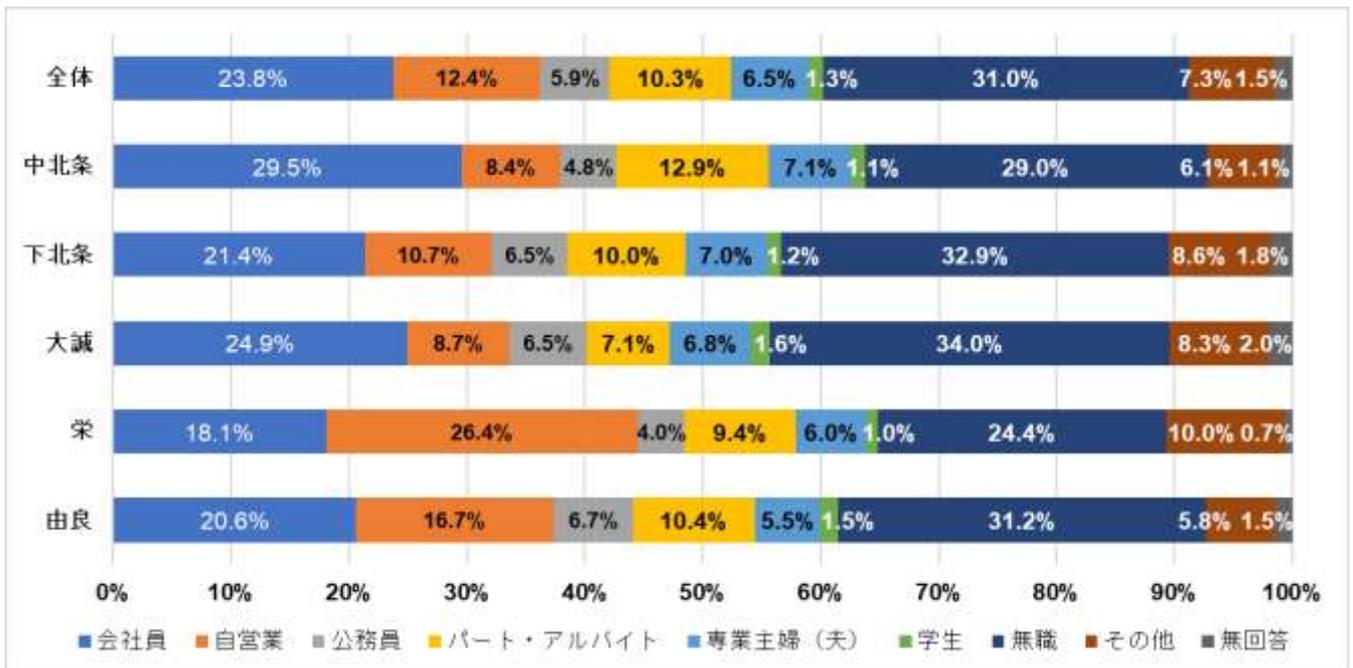
年齢（質問:年齢を教えてください。）



性別（質問:性別を教えてください。）

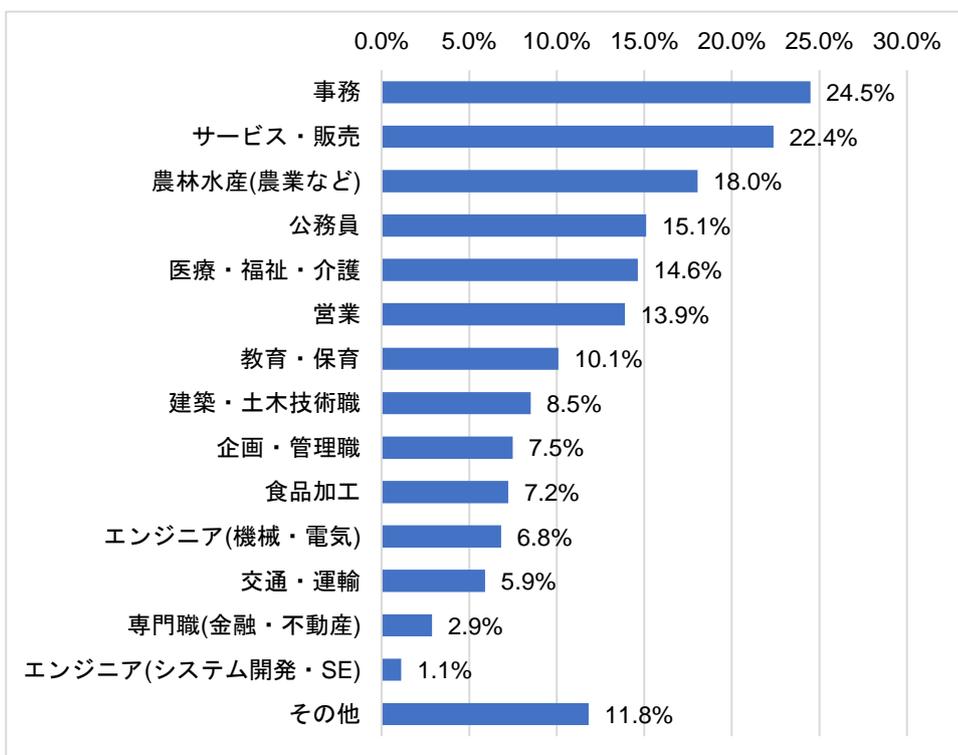


職業（質問：職業を教えてください。）選択肢：会社員、自営業、公務員、パート・アルバイト、専業主婦(夫)、学生、無職、その他



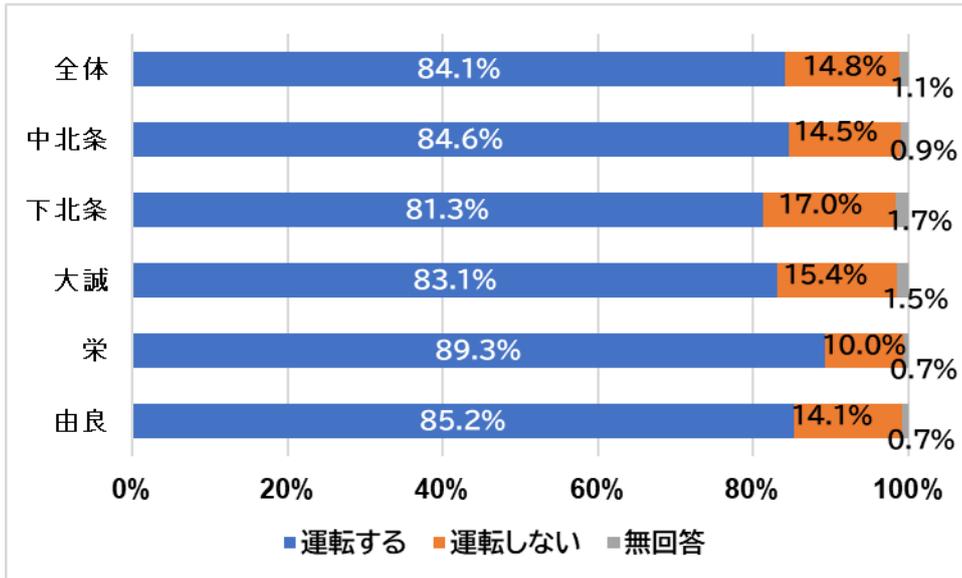
経験したことのある職種（質問：現在もしくはこれまでに経験したことのある「職種」をすべてお答えください。パートや地域での活動も含まれます。(いくつでも可)）

選択肢：営業、企画・管理職、エンジニア(機械・電気)、事務、専門職(金融・不動産)、エンジニア(システム開発・SE)、公務員、教育・保育、建築・土木技術職、交通・運輸、サービス・販売、農林水産(農業など)、食品加工、医療・福祉・介護、その他



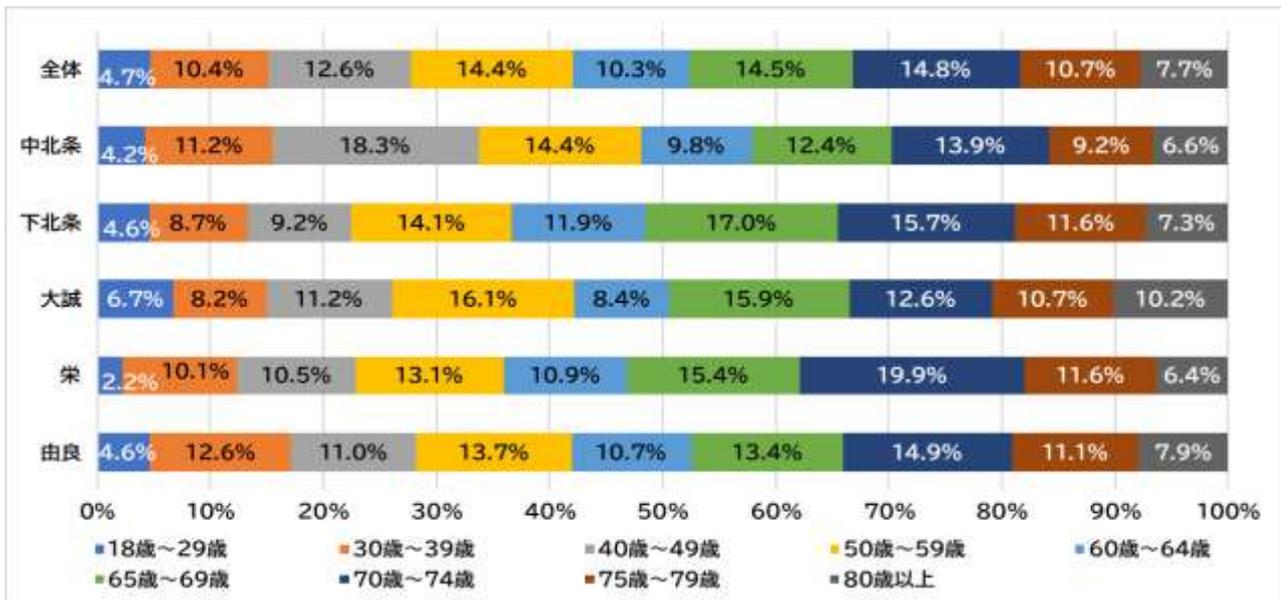
1.2 日常生活

車の運転 (質問: 普段、自分で車を運転しますか。)



栄地区で高い傾向

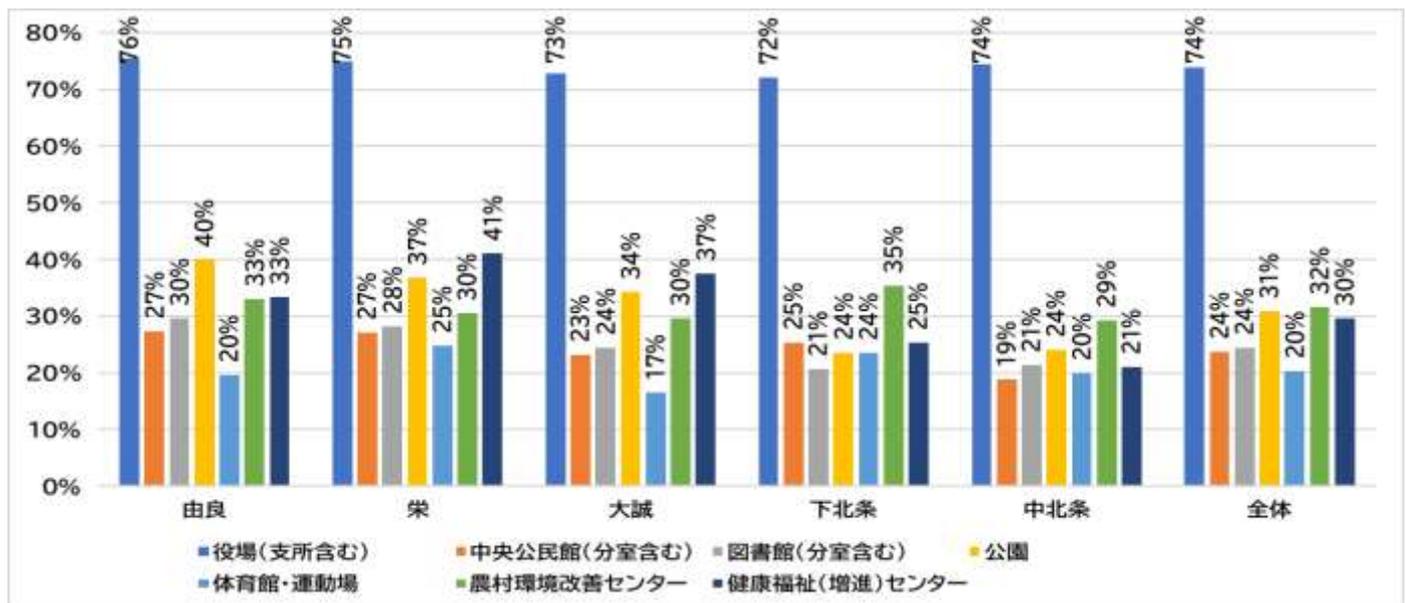
「運転をする」と回答した人の年齢(n = 3293)



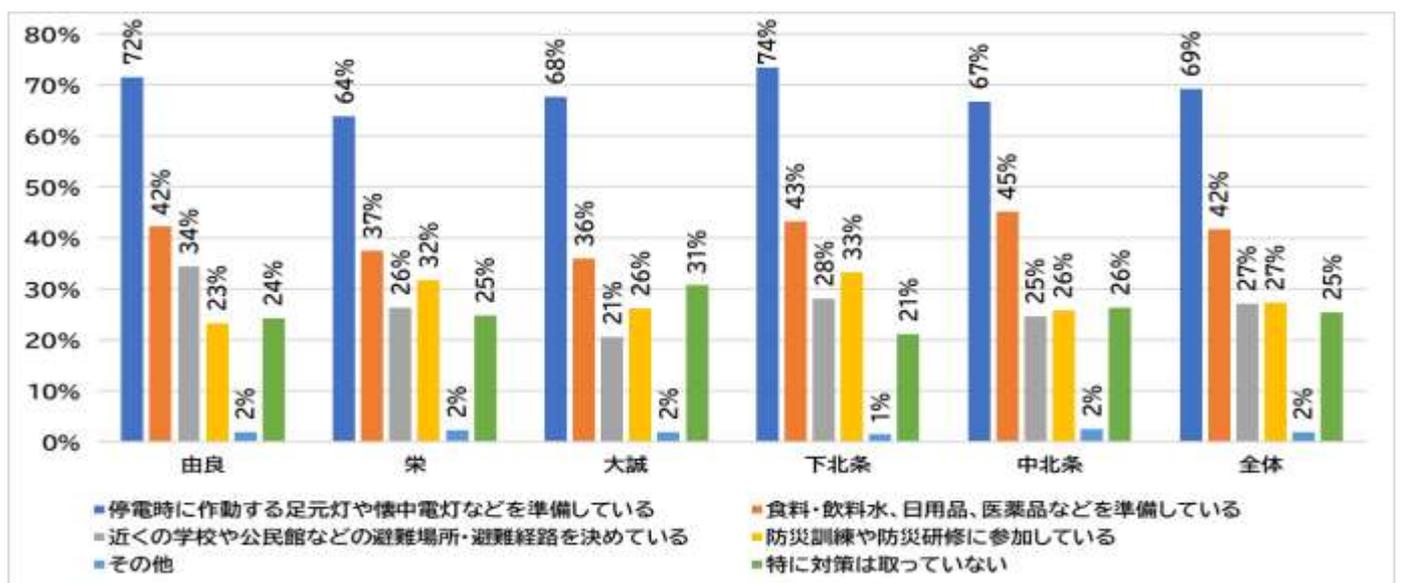
運転する人のうち、15~20%が75歳以上。

町有施設の利用状況

(質問: 次の町有施設について過去1年以内に利用したことがあるものを教えてください。(いくつでも可))



災害時の備え (質問: 災害時に備えてどんな対策をとっていますか。(いくつでも可))

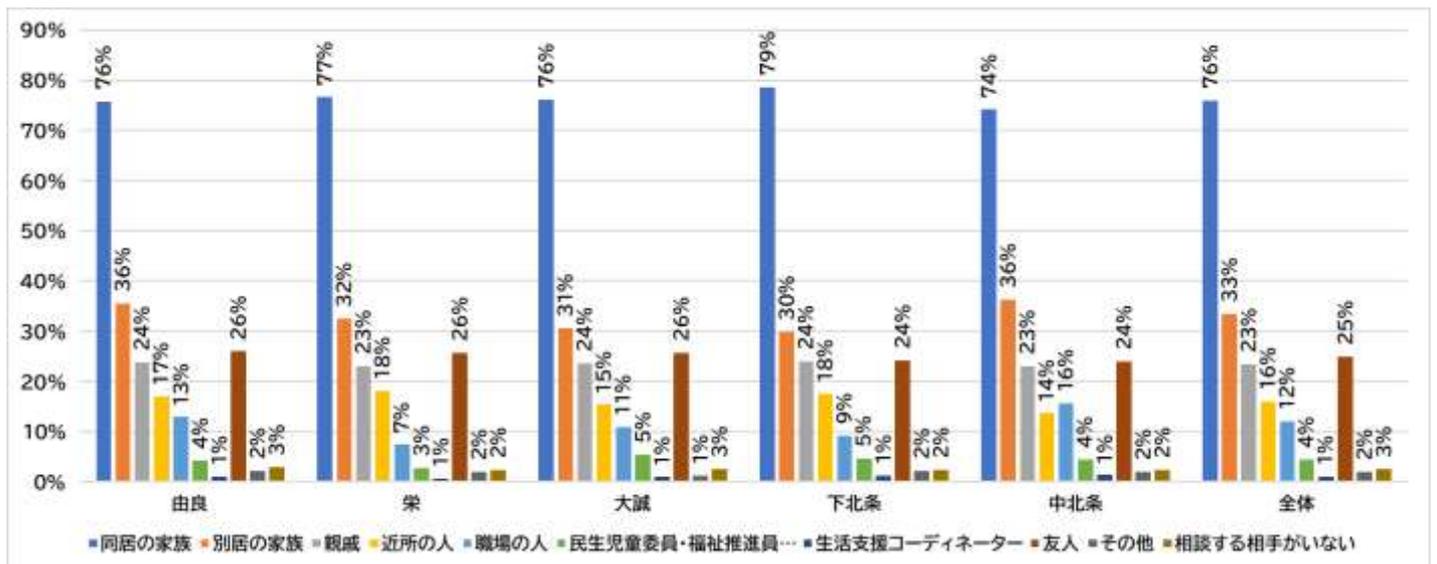


4人に1人は災害の備えをしていない。

その他の内容

本／暖房対策／太陽電池／小型発電機／発電機所有／入所している／停電時の焼料／蓄電池の設置／非常持ち出し袋／資格の取得更新／丈夫な家に住む／生活水の準備／家族がしている／自分で動けない／自治会の避難訓練／飲料水、カンパン／自治会の防災マップ／自治会の防災マップ／自分自身でできない／ガソリンを早めに入れる／家の家族に頼んでいる／防災グッズを買っている／何もしてない、決めてない／避難場所がない(車の中)／非常時にも対応できる貯蓄／雨雲レーダーをチェックする／町外の避難場所も決めていいる／家族に連れていってもらう／家具が倒れないようにしている／非常持ち出し袋を準備している／保存食の確保、乾物(缶詰他)／自治会の防災訓練に参加する／車で生活できるようにしている。／たまにイメージトレーニングをする／車、衣類ティッシュ等備えている／日赤で保存食を頂いている 試験用／障害者専用場所とかあった方がよい／災害時に必要なもの全て準備している／トランジスタラジオを準備している／防災道具一式(食料・飲料水は含まず)／トリピーメール等を利用して情報を得る／インフラの確保対策及び避難場所の確保／家が高台なのであまり非難は考えていない／足が悪いのでどこでも避難出来ないと思う／蓄電池、カセットボンベ、飲料水等を常備／バッグの中に携帯トイレのふえを入れている／現在2年ほど入院中なのでなにも出来ません／電化住宅のためガスコンロを準備している／家族との連絡、別々の場所で被災した時の対応／自家水(ボーリング)、発電用に自家発電器所有／ペット(犬)用のケージとフードを準備している／夏季になると外の音が聞こえるように網戸にしている／家族で別々の場所にいた時に災害が起こった場合の対応／車のガソリンを早めに満タンにする 石油ストーブを準備する／防災の地図ではこのあたりは大丈夫の様なので家の上へ避難予定／家族で災害の種類や居場所によって非難のし方がある程度決めていいる／小銭を多めに準備している。なるべくガソリンを入れて災害時にあわてないようにしている。

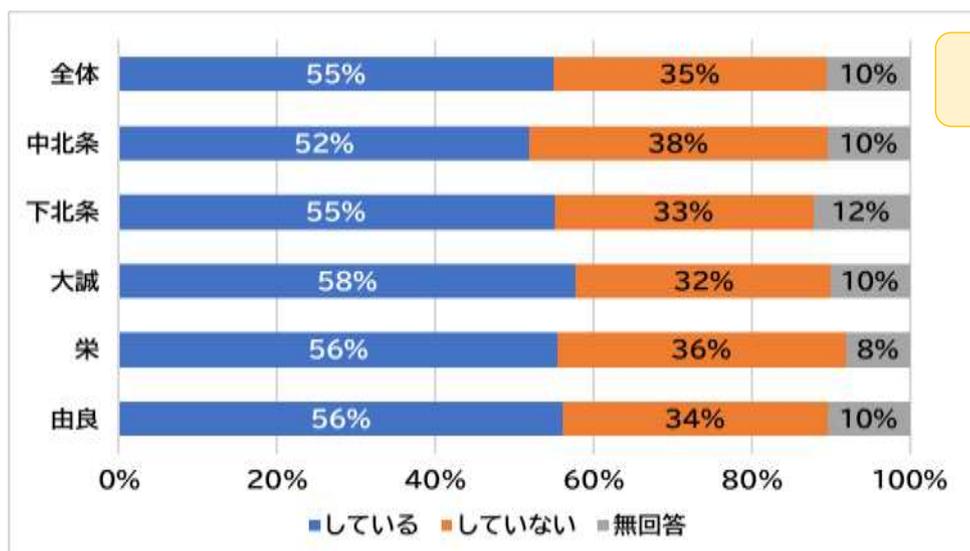
困りごとの相談先 (質問:日常生活で困りごとが生じたときに、だれに相談しますか。(いくつでも可))



その他の内容

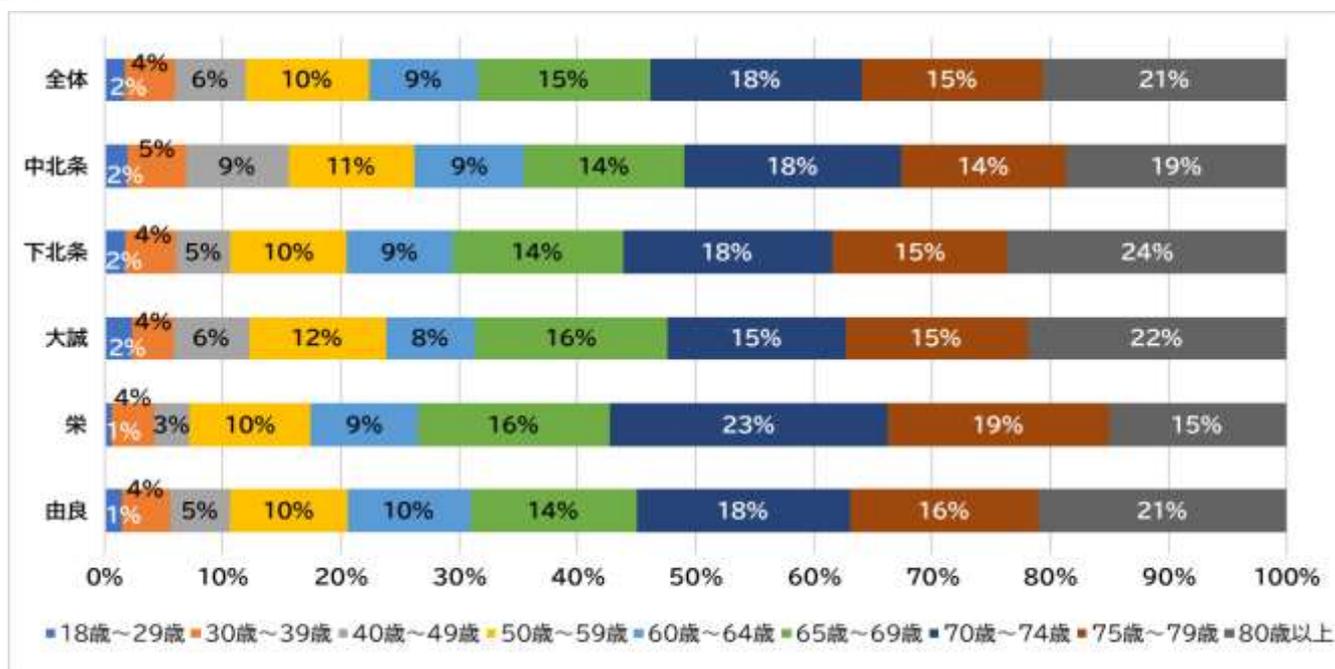
家族:親兄弟姉妹、子どもなど(13人)／役場(8人)／インターネット(6人)／ケアマネージャー(6人)／自治会(4人)／施設など(4人)／自分(3人)／ヘルパー(3人)／ない(4人)／友人／別棟／婚約者／決めていない／デイサービス／信仰の教会の人／お隣の人(災害の時)／内容に応じて関係機関に／知人／内容によって相手を選ぶ／代行サービスがあるといいなあ～／相談しても解決しないのでは過疎化がとまらない

通院の状況 (質問:現在、通院していますか。)

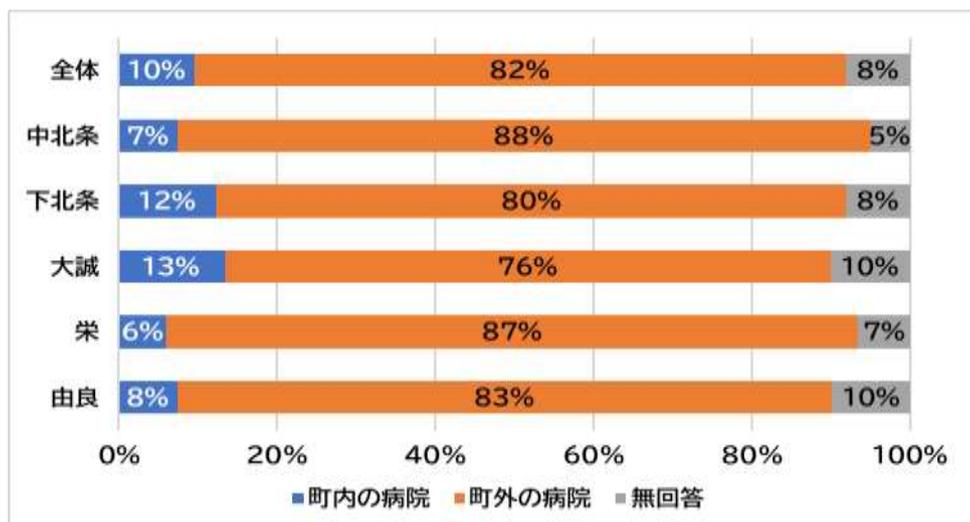


55%が通院している。

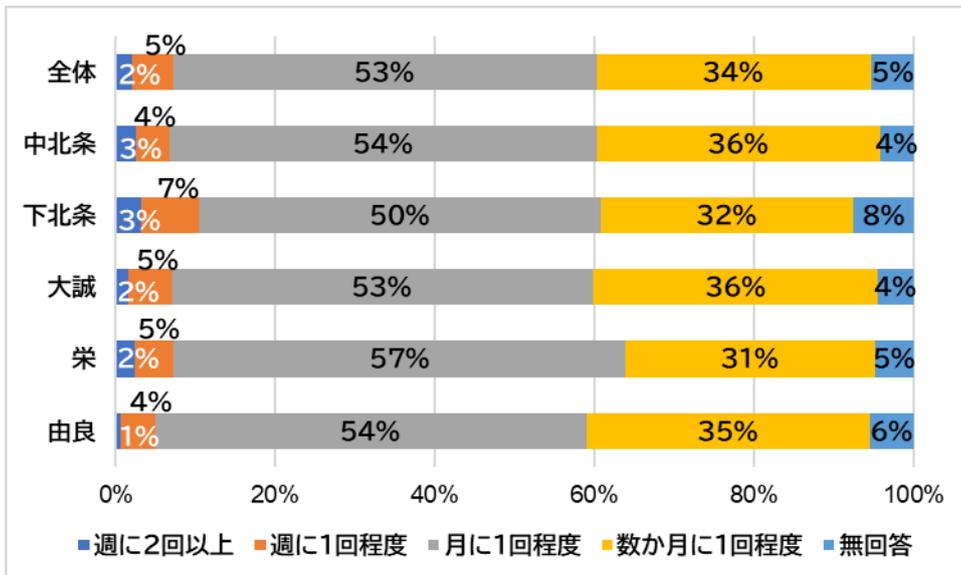
「通院をする」と回答した人の年齢(n = 2155)



a.通院先



b.頻度



全体の7%が週単位で
通院している

c.行き方

